

改善点 1 : 内容を関連づける

改善点1：内容を関連づける

現状

資料6

R4：それぞれ個別に基礎知識の習得、現場実習を行っていた

立木調査（5月）

標準地の取り方、
直径や樹高の測り方
林分材積の計算を学ぶ
標準地調査実習を行う



立木調査で地図の見方や
コンパスの使い方の知識
が必要だった！！

周囲測量（8月）

地図の見方、測量の基礎知識、
コンパスの使い方を学び
周囲測量実習を行う

最新技術を学んだが、実際の作業との
関連がよくわからなかった！！

森林3次元計測技術（8月）

森林3次元計測システムを用いた
森林調査等を行う

林業ICTと森林GISの基礎（8月）

森林における情報通信技術（ICT）や
森林GISの基礎、実習を行う

改善点 1 : 内容を関連づける

周囲測量 1 (5月)

地図の見方、測量の基礎知識、コンパスの使い方を学ぶ

立木調査 (5月)

標準地の取り方、直径や樹高の測り方
林分材積の計算を学ぶ

周囲測量 1 や立木調査の座学で学んだ
基礎知識を踏まえ林内で標準地調査を
行い林分材積などを計算する

森林 3 次元計測技術 (5月)

立木調査と同じ箇所で計測を行い
標準地調査と比較する

周囲測量 2 (8月)

林内で周囲測量を行い図面まで作成
する

林業ICTと森林GISの基礎 (8月)

周囲測量 2 の現場で位置情報を取得し
作成した図面をGIS上に落とす
併せて周囲測量 2 の現場でGNSS測量を
行いコンパス測量と比較する

改善点 2 : 技能の定着

改善点2：技能の定着

現状

資料6

R4：チェーンソーの自主練習の時間、指導が不十分だった

チェーンソーの資格取得（4月）

月1回程度のチェーンソーの自主練習

自主練習での課題などが十分理解できないまま練習
9月の講義でチェーンソー技術が未熟であるとの指摘

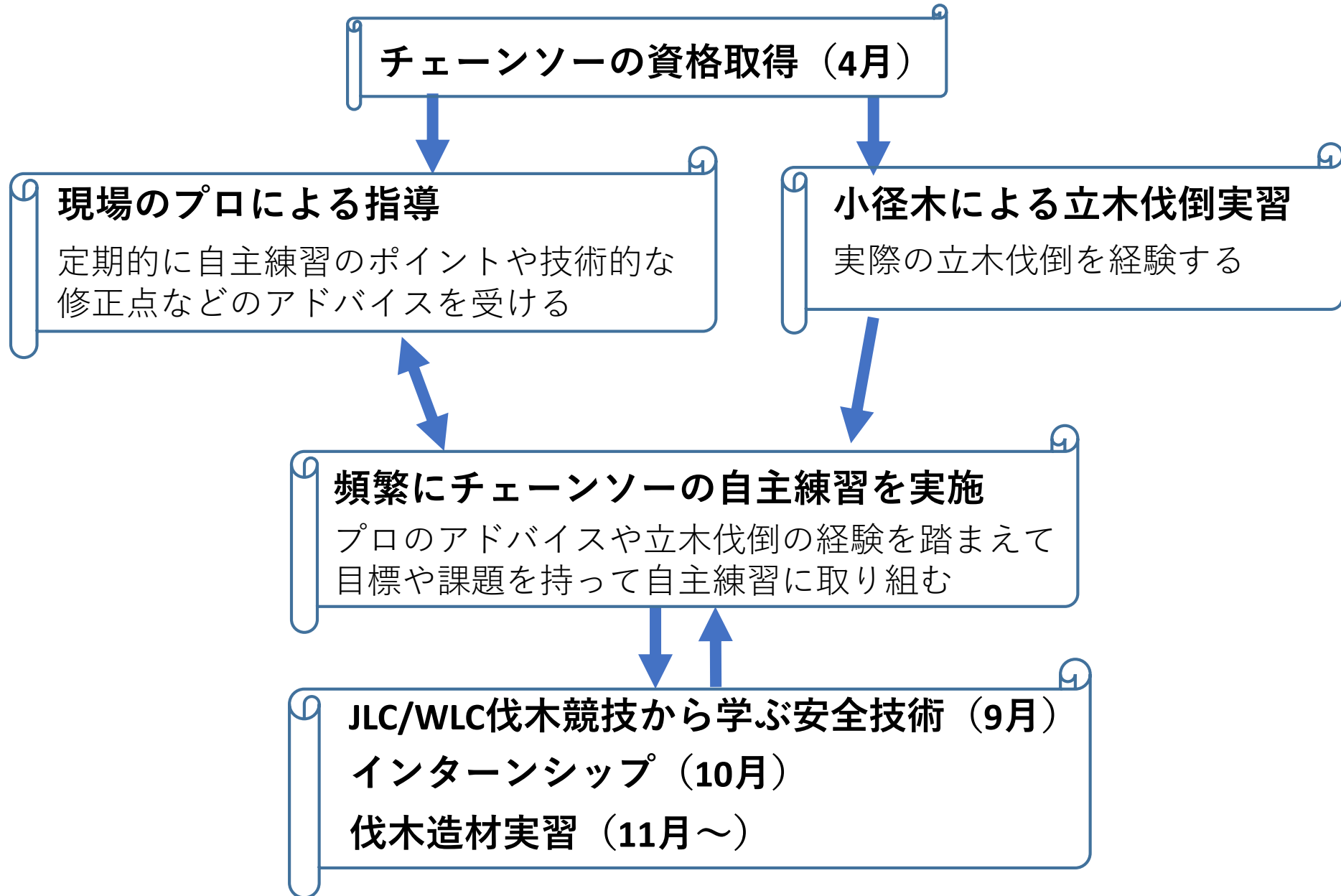
JLC/WLC伐木競技から学ぶ安全技術（9月）

チェーンソーに十分習熟できないまま
インターンシップ等で現場体験

インターンシップ（10月）

伐木造材実習（12月～）

改善点 2 : 技能の定着



改善点2：技能の定着

現状

資料6

R4：資格取得後に重機関係の操作実習を取っていないかった

車両系建設機械運転技術等の資格取得（6月）

自主練習の時間を取っていないため
ほとんどの研修生は11月まで重機操作
は行っていない

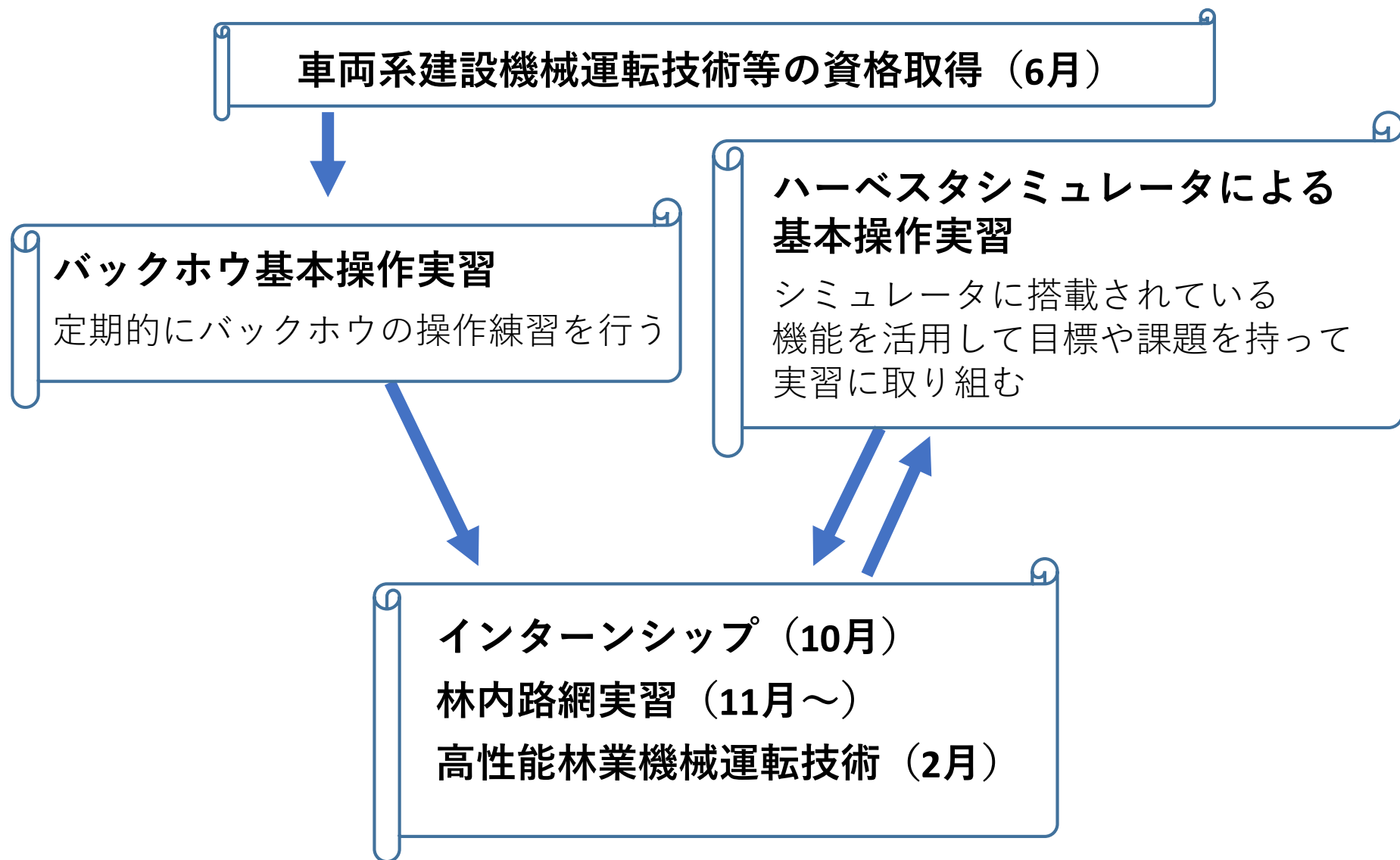
重機操作に十分習熟できないまま
インターンシップ等で現場体験

インターンシップ（10月）

林内路網実習（11月～）

高性能林業機械運転技術（2月）

改善点 2 : 技能の定着



改善点 3 : 効率的に実習を行う

改善点 4 : 新たな講義等の追加

改善点 3 : 効率的に実習を行う

現状

令和 4 年度 : 2 つの実習をそれぞれ別日に実施

チェーンソーの自主練習

14人が4カ所で2日間練習
→3~4人で1カ所/日

バックホウ基本操作実習

14人が2台で2日間実習
→7人で1台/日

計4日間

令和 5 年度 : 実習を同じ日に実施

チェーンソーの自主練習

8人が4カ所で練習 (1日)
→2人で1カ所/日

バックホウ基本操作実習

7人が2台で1日実習 (1日)
→3~4人で1台/日7人が4カ所で練習 (1日)
→1~2人で1カ所/日8人が2台で1日実習 (1日)
→4人で1台/日

待ち時間を短縮し、4日間の研修を2日間で実施

改善点4：新たな講義等の追加

安全の基礎（ヘビ、ハチ等危険生物）（4月）

令和4年度実習でヘビに噛まれたり、ハチに刺された事案が発生し、林内作業における危険性や対処を周知する必要がでたため

就職ガイダンス（4月）

第1期生よりインターンシップ先、就業先を選定する上で林業事業体から直接話を聞きたいとの要望があったため